

花

一年

画数 7
筆順
オン
クン

一 一 一 一 一 一 一
ナ カ は な

成り立ち



ひとがたおれてしぬことをあらわし、「ばける(まったくちがったすがたにかわること)」といういみにつかわれる「化」と、「くさ」のかたちをあらわし「くさ」のいみの「艹」とをくみあわせた字で、「くさがばけたすがた」の「はな」をあらわした字です。

花はうつくしいので、「うつくしいもの」「うつくしいじよせい」をあらわすのにつかわれます。

使い方

▽ただ「花見」といえば、それは「さくらの花」のことです。むかしの人は「花はさくら木」といいました。

▽さくらの花のさくころにおおい「うすぐもり」のてんきを「花ぐもり」といいます。

熟語例

▽しぜんのおうつくしいけしきを「花鳥風月」といい、人びとはむかしから、これをたのしんできました。

▽花氷(中に花を入れてこおらせた氷)

▽花形(花の形、または「花のもよう」といういみのことばですが、「人気のある人」のことをいいます。いまではスターといいます。)

▽花暦(ときのうつりにしたがってさく花の、さくきせつとところをかきしるしたもの)

▽花便り(花のさいたようすをしらせるたより)

▽花冷え(さくらの花のさくころにくるさむさのことをいいます。)

▽造花(かみやぬのなどで造った花のこと。造り花。)

▽開花(花がさくこと。「花が開く」といういみ)

▽「生花」

▽「生花」

▽「生花」

▽「生花」

使い方

▽きのう、みんなであみへいきました。かいがんで、とてもきれいな貝がらをひろいました。そとがわは、いろいろなで、うちがわはピンクいろと白でした。ほかにもおちていないかと、さがしてみたら、いろいろな貝がらがありました。でも、さいしよにひろった貝がらほどきれいな貝がらは、ありませんでした。

▽むかしは、わたしたちがいまつかっているようなおかねはなく、貝がつかわれたのだそうす。それは、貝がともきれいだから、おかねとしてつかわれたのだとおもいます。きれいな貝はたくさんはないし、めずらしいから、むかしの人は、たいせつにしていたにちがいありません。わたしも、きれいな貝をいくつかもっています。が、やはりだいじにしています。

熟語例

▽貝殻(貝のみをおおっている殻)

▽貝塚(大むかしの人がたべた貝の殻が、つもってできた塚。地中からの貝の化石がでてきます。たいせつな遺跡です。)

▽真珠貝(真珠をやどしている貝)

貝

一年

画数 7
筆順
オン
クン

一 一 一 一 一 一 一
ナ カ は な

成り立ち



「かい」のかたちをあらわした字で、「かい」ということばをあらわした字です。

むかし、中国では、「貝」が「貴重(めずらしくて、ひじょうにたいせつなこと)」。でしたから、「財産」になり、おかね(貨幣)のかわりにつかわれました。それで、「貴財」「貨」という字には「貝」がつかわれているのです。

(貝の音は、漢音がバイ、呉音がマイ。「賣」「買」にこれが音符となっているくらいで、単独にはほとんど見られない。)